



容量停止計画提出時の留意事項

(実需給年度の2年度前に行う容量停止計画の調整)

(対象実需給年度：2026年度)

2024年7月16日

電力広域的運営推進機関

- 本資料では、実需給2年度前に行う容量停止計画提出時の留意事項についてご説明いたします。
 - 容量停止計画提出時の留意事項
 - 容量市場システムへの容量停止計画の提出

■ 容量停止計画の出力可能容量の算定方法の考え方について

➤ 説明会資料および説明会の動画を公表しておりますので、こちらを確認願います。

【説明会資料公表ページ】（対象実需給年度：2026年度） 容量市場 実務説明会資料（容量停止計画の調整業務）
（https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou_setsumeikai.html）

【説明会資料】
（https://www.occto.or.jp/market-board/market/files/202406_youryou_teishikeikakusetsumei.pdf）

1. 本資料の対象業務④
容量停止計画の出力可能容量の算定方法の考え方（1/2）

- 出力可能容量の算定は供給計画への供給力計上と整合を図っていただく必要があります。供給計画への供給力計上は「電力需給バランスに係る需要及び供給力計上ガイドライン」等もご参照ください。
- 容量停止計画の出力可能容量を算定する際の留意点を以下にまとめます。
 - 計画補修は、定期補修および中間補修※1とし、付帯作業等も考慮した補修日数
※1：日数が短く休日等の軽負荷時に実施可能な場合は、停止電力として見込まない
 - 計画補修による停止電力は原則、月平均値
 - 月を跨ぐ作業計画は、それぞれの月単位に分けて算定
 - 調整係数が適用される電源（純揚水）の出力可能容量は調整係数を乗じて算定※2
※2：供給計画における調整係数が適用される電源の停止電力の反映方法は次頁にて説明
 - 変動電源（単独）は調整係数に停止電力が考慮されているため、停止電力を0kWとして出力可能容量を算定
 - 本機関が「2024年度供給計画で供給区域毎に指定する記載断面 ②月間計画の算定期間、指定時」において提示する算定期間として設定する「月間」、「前半（1日～15日）」、「後半（16日～30日）」※3の平均値として算定
※3：歴日数が31日の月は、後半の算定期間は16日～31日となる。
 - 応札単位の電源が複数あり、計画補修時においても出力可能容量の合計値が応札単位のアセスメント対象容量※4を下回ることがなければ、容量停止計画の提出の省略が可能
※4：純揚水はアセスメント対象容量に調整係数を乗じた値と出力可能容量を比較

6 1. 本資料の対象業務④
容量停止計画の出力可能容量の算定方法の考え方（2/2）（調整係数について）

- 調整係数が適用される電源の供給力算定方法は次のとおり停止電力を反映してください。
 - 発電方式の区分（下表の電源種別）が純揚水・蓄電池の場合は、個別に停止電力を算定し、出力可能容量を算定
 - 発電方式の区分（下表の電源種別）が純揚水・蓄電池以外の場合は、調整係数に停止電力が考慮されているため、停止電力を0kWとして出力可能容量を算定

太陽光・風力・蓄電池・自流水力・揚水式水力の供給力算定方法について 5

電源種別		2024年度供給計画
太陽光	全量	設備量※1×調整係数
	余剰	（設備量（発電端値）－自家消費分）×調整係数
風力	全量	設備量※1×調整係数
	余剰	設備量※1×調整係数＋調整能力
自流水力※2		調整池使用計画
貯水池式水力		貯水池使用計画
揚水式水力 ※3※4	純揚水	設備量※1×調整係数※6
	混合揚水	設備量※1×調整係数※6※7
	潜在計算無し	貯水池式水力に準じる
蓄電池※5		設備量※1×調整係数※6

※1 設備量は基本的には送電端値（太陽光（全量）・風力は発電端値＝送電端値とみなす）
※2 調整係数を用いるかどうかは各社判断。調整係数を用いない場合は、調整池使用計画等により算出
※3 計画補修がある場合の供給力の算定方法はP7、8、9参照
※4 供給力評価にあたり、考慮すべきリスク（洪水回避のための格差、有効水位減による発電出力減等）がある場合は、各発電事業者が考慮すべきリスクを踏まえて運転継続時間を選択する
※5 容量市場において発動指令電源として落ちている場合は、それを踏まえた計上値とする
※6 補修、上池の水位制約やブラックスタート機能契約を考慮した運転継続時間にあつた値を使用。なお、純揚水と混合揚水、蓄電池の調整係数は同一
※7 自流分は池容量に加工したうえで運転継続時間を算出
（補足1）電源1供給力については、発電事業者にて調整係数を用いて計上する。
（補足2）調整係数は基本停止電力が考慮されて算出されているが、揚水の調整係数は考慮されていないため、蓄電池、揚水式水力の算出においては、個別に停止電力の差し引きが必要
（補足3）沖縄エリアにおいても、調整係数を使用し再生エネルギーの供給力を算出する。

■ 容量停止計画を提出する際に特にご確認いただきたい具体例について記載します。

➤ 出力可能容量の上限

- ✓ 容量停止計画として提出いただく**作業月の出力可能容量は**、提出している期待容量等算定諸元一覧の「提供する各月の供給力」（**アセスメント対象容量**）が**上限**となります。
- ✓ 出力可能容量の算定は応札容量ではなく、期待容量等算定諸元一覧の「提供する各月の供給力」を用いて算定ください。

期待容量等算定諸元一覧（イメージ）

項目	事業者入力				
電源等の区分	安定電源				
発電方式の区分	LNG(GTCC)				
エリア名	東京				
設備容量	25万 kW				
各月の供給力の 最大値	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
期待容量	18万 kW				
提供する各月の 供給力	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
応札容量	18万 kW				

期待容量等算定諸元一覧（イメージ）

項目	事業者入力				
電源等の区分	変動電源(単独)				
発電方式の区分	風力				
エリア名	関西				
設備容量	10,000 kW				
送電可能電力	9,000 kW				
調整係数	27.5%				
各月の供給力の 最大値	4月	5月	...	2月	3月
	2,679	1,421	...	3,312	3,160
期待容量	2,475 kW				
提供する各月の 供給力	4月	5月	...	2月	3月
	2,679	1,421	...	3,312	3,160
応札容量	2,475 kW				

2. 容量停止計画提出時の留意事項（具体例）

- 容量停止計画を提出する際に特にご確認いただきたい具体例について記載します。

➤ 出力可能容量は平均で算定

- ✓ 本機関が供給区域毎に指定する記載断面※②月間計画の算定期間、指定時の算定期間として設定する「**月間**」、「**前半**」、「**後半**」の**平均値として算定**願います。

※https://www.occto.or.jp/kyoukei/teishutsu/sankoushiryou_2024.html

「2024 年度供給計画で供給区域毎に指定する記載断面、各月毎の供給力算定期間」を参照。

✓

【業務マニュアルp.7～8参照】

(https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/chousei/files/240620_teishikekaku_manual.pdf)

■ 容量停止計画を提出する際に特にご確認いただきたい具体例について記載します。

➤ 重複計上のチェック

✓ 以下ケースの場合に重複計上とならないようご注意ください。

- 同月に複数作業がある場合

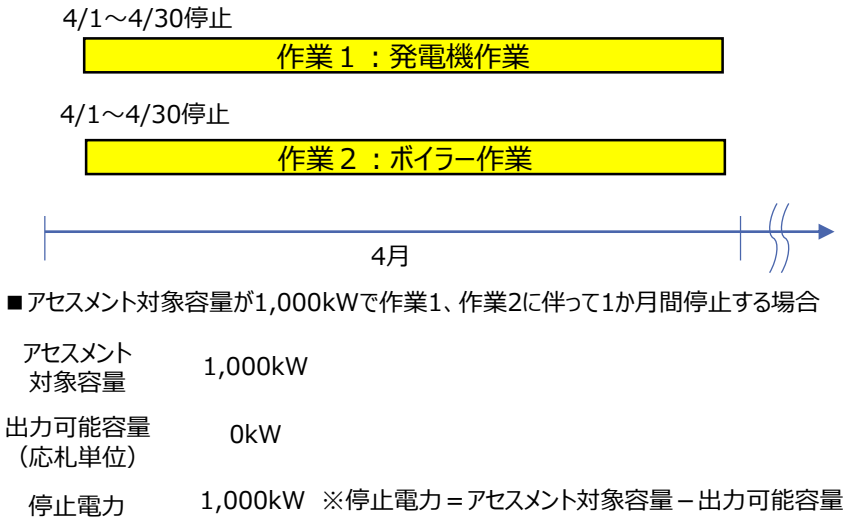
- 応札単位に複数電源がある場合

- 原則として応札単位の期待容量を各号機の設備容量で按分した容量がそれぞれの号機の出力可能容量の上限となります（他号機停止時に増出力した場合を除く）。

【説明会資料p.8～12に容量停止計画の考え方の例を記載しています】

(https://www.occto.or.jp/market-board/market/files/202406_youryou_teishikeikakusetsumei.pdf)

<間違いケース>
同月に複数作業がある場合の
出力可能容量の重複計上



【容量停止計画の作成例】

✕ 間違いケース（重複計上）

作業	期間	出力可能容量	備考
作業1	4/1~4/30	0kW	本来出力可能容量は0kWであるところ、 - 1,000kWで計上されてしまう
作業2	4/1~4/30	0kW	

○正しい計上方法（下記①、②どちらの方法も可）

①作業 1、作業 2 をそれぞれ計画提出する場合

作業	期間	出力可能容量	備考
作業1	4/1~4/30	0kW	停止電力がアセスメント対象容量を 超えないよう計上する
作業2	4/1~4/30	1,000kW	

②作業を集約して計画提出する場合

作業	期間	出力可能容量	考え方
作業1	4/1~4/30	0kW	2つの作業を 1 つに集約して提出

<同月に複数作業がある場合の応札単位での出力可能容量>

応札単位での出力可能容量
= Σ（各作業の出力可能容量） - アセスメント対象容量 ×（計画の数 - 1）

各作業の出力可能容量 = アセスメント対象容量 - 停止電力

✕間違いケースでの出力可能容量（応札単位）
= (0kW + 0kW) - 1,000kW × (2 - 1)
= -1,000kW

○正しい計上方法での出力可能容量（応札単位）
①の計算式
= (0kW + 1,000kW) - 1,000kW × (2 - 1)
= 0kW
②の計算式
= (0kW) - 1,000kW × (1 - 1)
= 0kW

■ 容量停止計画を提出する際に特にご確認いただきたい具体例について記載します。

➤ 変動電源（単独）の対応

- ✓ 変動電源（単独）の容量停止計画を提出する際は、**停止電力量の反映は不要**です。
「出力可能容量＝当該月のアセスメント対象容量」としてご提出願います。

※停止電力が0kWの場合でも作業計画把握のため、容量停止計画の提出は必要です

【説明会資料p.7に関連事項記載】

(https://www.occto.or.jp/market-board/market/files/202406_youryou_teishikeikakusetsumei.pdf)

2. 容量停止計画提出時の留意事項（具体例）

- 容量停止計画を提出する際に特にご確認いただきたい具体例について記載します。

➤ 純揚水の対応

- ✓ 出力可能容量の算定は応札容量ではなく、**期待容量等算定諸元一覧の「各月の管理容量」を用います。**各月の管理容量に、**作業および作業を考慮した運転継続時間から求めた調整係数を乗じ、出力可能量を算定**ください。

期待容量等算定諸元一覧（イメージ）

項目	事業者入力				
電源等の区分	安定電源				
発電方式の区分	揚水(純揚水)				
エリア名	関西				
設備容量	25万 kW				
各月の送電可能電力	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
各月の運転継続時間(期待容量算出用)	4月	5月	...	2月	3月
	8h	3h	...	6h	7h
期待容量	18万 kW				
各月の管理容量	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
各月の運転継続時間(応札容量算出用)	4月	5月	...	2月	3月
	8h	3h	...	6h	7h
応札容量	18万kW				

2. 容量停止計画提出時の留意事項（具体例）

■ 容量停止計画を提出する際に特にご確認いただきたい具体例について記載します。

➤ 作業の開始および終了年月日は2026年度内か確認

✓ 対象年度内(2026年4月1日～2027年3月31日)の作業であることを確認願います。

- 対象年度以外の期間の容量停止計画は今回提出いただく必要はありません。
- 対象実需給年度2027年度の容量停止計画は、来年度に提出してください。
- 例えば、2026/12/1～2027/4/30までの容量停止計画は、
2026/12/1～2027/3/31までを今回提出し、2027/4/1以降は来年度の提出となります

3.容量市場システムへの容量停止計画の提出（初回）

10

- 容量停止計画の提出手続きは、以下の2通りの方法があります。
 1. CSVファイルのアップロードによる登録（新規登録を一括で実施する場合）
 2. 容量市場システム上で直接登録（新規登録を個別で実施する場合）

次ページ以降手順について説明します。

3.容量市場システムへの容量停止計画の提出（初回） システム操作・留意点（1．CSVファイルのアップロードによる登録）

11

- 容量停止計画の提出手続きは、容量市場システムからダウンロードするCSVファイルを用います。
- 以下の手順に従い、容量停止計画の提出を行ってください。

● CSVファイルのダウンロード

容量市場システム「ポータルトップ画面」>「容量停止計画」タブで容量停止計画管理ボタンを押下>「容量停止計画一覧」で実需給年度・電源等識別番号を入力、設定用CSV出力を押下しCSVファイルをダウンロードします。

容量市場システム

ログイン日時: 2022/06/15 10:30 ログアウト
ユーザ名: 担当 ア(フェーズ2)

容量停止計画一覧画面

TOP > 容量停止計画 > 容量停止計画管理 > 容量停止計画一覧画面

事業者コード	半角英数字で入力してください。 7Y02												
実需給年度	半角英数字で入力してください。 												
電源等識別番号	半角英数字で入力してください。 												
容量停止計画登録状況	容量停止計画登録状況を絞り込みたい場合は、チェックしてください。(複数チェック可) <table border="0"><tr><td>☐ 登録確認待</td><td>☐ 変更確認待</td><td>☐ 取消確認待</td><td>☐ 調整不調電源反映済</td></tr><tr><td>☐ 登録確認中</td><td>☐ 変更確認中</td><td>☐ 取消確認中</td><td>☐ 調整不調電源取消済</td></tr><tr><td>☐ 登録確認待取下</td><td>☐ 変更確認待取下</td><td></td><td></td></tr></table>	☐ 登録確認待	☐ 変更確認待	☐ 取消確認待	☐ 調整不調電源反映済	☐ 登録確認中	☐ 変更確認中	☐ 取消確認中	☐ 調整不調電源取消済	☐ 登録確認待取下	☐ 変更確認待取下		
☐ 登録確認待	☐ 変更確認待	☐ 取消確認待	☐ 調整不調電源反映済										
☐ 登録確認中	☐ 変更確認中	☐ 取消確認中	☐ 調整不調電源取消済										
☐ 登録確認待取下	☐ 変更確認待取下												

入力箇所

電源等識別番号を空白として「設定用CSV出力」を押下した場合は、登録されている安定電源、変動電源(単独)の情報がCSVファイルに出力されます

設定用CSV出力 検索

Copyright OCCTO. All Rights Reserved.

3.容量市場システムへの容量停止計画の提出（初回）

システム操作・留意点（1．CSVファイルのアップロードによる登録）

■ CSVファイルの編集は次の点に留意してください。

● CSVファイルの編集

ダウンロードしたCSVファイルを編集します。
編集の際、桁数や0落ちなどに注意してください

必要事項を入力する

“容量停止計画ID”、“実需給年度”、“電源等識別番号”、“電源等の名称”、“電源等差替ID”、“差替元電源等識別番号”、“受電地点特定番号”、“枝番”、“停止設備（号機単位の名称）”、“系統コード（号機単位）”、“作業開始年月日”、“作業開始時分”、“作業終了年月日”、“作業終了時分”、“広域受付番号”、“出力可能容量[kW]”、“容量停止計画登録状況”、“登録区分”

2026_0000009141_電源7Y10_安定1_0000000352_0000009043_3300000000000000000000020_1_1号機_21111	20260401_1000_20260430_2000_1234567_1500_1
2026_0000009141_電源7Y10_安定1_0000000352_0000009043_3300000000000000000000020_2_2号機_22221	20260515_1000_20260530_2000_1234568_2500_1
2026_0000009141_電源7Y10_安定1_0000000352_0000009043_3300000000000000000000020_3_3号機_23331	20260620_1000_20340630_2000_1234569_3500_1

容量停止計画を提出しない場合は、対象行を削除する

CSVファイルに記載する項目一覧

No	項目	入力内容
①	容量停止計画ID	編集しない（空欄、または入力済みの値のまま）
②	実需給年度	編集しない（入力済みの値のまま）
③	電源等識別番号	編集しない（入力済みの値のまま）
④	電源等の名称	編集しない（入力済みの値のまま）
⑤	電源等差替ID	差替実施の場合は電源等差替ID（10桁）を入力 差替実施していない場合も、カンマで区切る形（「,」）で入力
⑥	差替元電源等識別番号	差替元電源等識別番号（10桁）を入力 差替実施していない場合も、カンマで区切る形（「,」）で入力
⑦	受電地点特定番号	編集しない（入力済みの値のまま）
⑧	枝番	編集しない（入力済みの値のまま）
⑨	停止設備（号機単位の名称）	編集しない（入力済みの値のまま）
⑩	系統コード（号機単位）	編集しない（入力済みの値のまま）
⑪	作業開始年月日	yyyymmdd形式の半角数字で入力 例：2025年10月1日に作業開始の場合「20251001」と入力
⑫	作業開始時分	hhmm形式の半角数字で入力 例：9:05に作業開始の場合「0905」と入力
⑬	作業終了年月日	yyyymmdd形式の半角数字で入力 例：2025年10月3日に作業終了の場合「20251003」と入力
⑭	作業終了時分	hhmm形式の半角数字で入力 注：24:00の場合「2359」と入力 例：9:05に作業終了の場合「0905」と入力
⑮	広域受付番号	広域機関システムから取得した広域受付番号を入力 広域受付番号がない場合「zzzzzzz」を入力
⑯	出力可能容量[kW]	1以上の数値を入力。 出力可能容量が0kWの場合は「1」を入力
⑰	容量停止計画登録状況	編集しない（空欄、または入力済みの値のまま）
⑱	登録区分	1,2のいずれかの半角数字を入力 1：初回登録 2：変更（2回目以降）

3.容量市場システムへの容量停止計画の提出（初回）

システム操作・留意点（1．CSVファイルのアップロードによる登録）

13

- 容量市場システムからダウンロードするCSVファイルを用います。
- 以下の手順に従い、容量停止計画の提出を行ってください。

● CSVファイルの保存

CSVのファイルは以下の名前で保存します。

初回提出：容量停止計画_0123_2025_0123456789_A1_R0.CSV

事業者 対象 電源等識別番号 枝番※ 変更
コード 実需給年度 回数

※枝番はファイルを分割する場合
のみ

● CSVファイルのアップロード

容量市場システムにCSVファイルをアップロードします。

＜容量停止計画をまとめる場合の留意点＞

- ・1行に1つの容量停止計画の情報を入力し、複数の計画がある場合は2行目以降に入力
- ・複数の容量停止計画をまとめた場合、先頭行の電源等識別番号をファイル名に記載
- ・容量停止計画は号機単位で作成
- ・月を跨る作業計画は、月単位に分けて作成
- ・他事業者の容量停止計画をまとめることはできません
- ・容量停止計画を変更する場合は、変更する容量停止計画のみ提出してください。変更しない容量停止計画は当該の行を削除のうえ提出

①

容量市場システム「ポータルトップ画面」の「参加登録」タブで「一括登録・変更」を押下して、「一括登録・変更画面」へ遷移

②

＞「ファイル種別」で「9:容量停止計画登録・変更」を選択。ファイル選択ボタンを押下、アップロードしたい容量停止計画（年間）を選択し、アップロードボタンを押下してください。

※ 容量停止計画はユニット単位で作業毎に提出する必要があります。

※ 容量停止計画を誤って提出した場合や、アップロード処理の成否確認方法、提出単位詳細については業務マニュアルを参照してください。

3.容量市場システムへの容量停止計画の提出（初回）

システム操作・留意点（2．容量市場システム上で直接登録）

14

■ 以下の手順に従い、容量停止計画の提出を行ってください。

● 容量市場システム上で直接登録

容量市場システム「ポータルトップ画面」>「容量停止計画」タブで「容量停止計画管理」ボタンを押下>「容量停止計画一覧画面」で「新規登録」、実需給年度・電源等識別番号を入力し、検索を実施すると検索条件に紐づく電源等情報詳細一覧が表示されます。容量停止計画の登録対象とする電源等情報詳細を選択の上、画面に従って必要項目を入力してください。

容量市場システム

ログイン日時: 2024/06/17 14:28 ユーザー名: 事業部0 担当者 ログアウト

容量停止計画情報登録画面

TOP > 容量停止計画 > 容量停止計画管理 > 容量停止計画一覧画面 > 容量停止計画情報登録画面

容量停止計画情報

電源等識別番号 * 半角英数字で入力してください。 0000005060

電源等産別ID 半角数字で入力してください。

検索

電源等情報詳細一覧

選択	検索	号機単位の名称	系統コード	電源種類の区分	発電方式の区分	設備容量[kW]	運用年月	実需給年度	詳細
☒	1	H115電源1_1号機	H1150	火力	石炭	500,000	2024/05	2052	詳細
☐	2	H115電源1_2号機	H1150	火力	LNG (GTOC)	300,000	2024/05	2052	詳細
☐	3	H115電源_3号機	H1150	火力	LNG (その他)	200,000	2024/05	2052	詳細

必須項目を入力

提出元事業者コード H115

作業開始日時 * yyyy/mm/dd HH:MM形式で入力してください。 [] : []

作業終了日時 * yyyy/mm/dd HH:MM形式で入力してください。 [] : []

広域受付番号 * 全角または半角文字で入力してください。

出力可能容量[kW] * 半角数字で入力してください。

3.容量市場システムへの容量停止計画の提出（変更）

システム操作・留意点（1．CSVファイルのアップロードによる登録）

■ 容量停止計画の**変更**に当たっては、以下の手順に従い、変更後の容量停止計画の提出を行ってください。

※ 12頁の「3.容量市場システムへの容量停止計画の提出（初回）」と本的には同様の業務となりますが、赤字箇所は変更点となりますのでご注意ください。

● CSVファイルのダウンロード

容量市場システム「ポータルトップ画面」>「容量停止計画」タブで容量停止計画管理ボタンを押下>「容量停止計画一覧」で実需給年度・電源等識別番号を入力、設定用CSV出力を押下しCSVファイルをダウンロードします。

● CSVファイルの編集

ダウンロードしたCSVファイルをテキストファイル形式で開き編集します。 ※登録区分には2を入力します。

“容量停止計画ID”、“実需給年度”、“電源等識別番号”、“電源等の名称”、“電源等差替ID”、“差替元電源等識別番号”、“受電地点特定番号”、“枝番”、“停止設備（号機単位の名称）”、“系統コード（号機単位）”、“作業開始年月日”、“作業開始時分”、“作業終了年月日”、“作業終了時分”、“広域受付番号”、“出力可能容量[kW]”、“容量停止計画登録状況”

2026.0000009141.電源7Y10.安定1.0000000352.0000009043.3300000000000000000020.1.1号機.21111.20260401.1000.20260430.2000.1234567.1500.2	2026.0000009141.電源7Y10.安定1.0000000352.0000009043.3300000000000000000020.2.2号機.22221.20260515.1000.20260530.2000.1234568.2500.2	2026.0000009141.電源7Y10.安定1.0000000352.0000009043.3300000000000000000020.3.3号機.23331.20260620.1000.20340630.2000.1234569.3500.2
--	--	--

必要事項を入力する

容量停止計画を提出しない場合は、対象行を削除する

登録区分は「2」を入力

No	項目	入力内容
①	容量停止計画ID	編集しない（空欄、または入力済みの値のまま）
②	実需給年度	編集しない（入力済みの値のまま）
③	電源等識別番号	編集しない（入力済みの値のまま）
④	電源等の名称	編集しない（入力済みの値のまま）
⑤	電源等差替ID	差替実施の場合は電源等差替ID（10桁）を入力 差替実施していない場合も、カンマで区切る形（「,,」）で入力
⑥	差替元電源等識別番号	差替元電源等識別番号（10桁）を入力 差替実施していない場合も、カンマで区切る形（「,,」）で入力
⑦	受電地点特定番号	編集しない（入力済みの値のまま）
⑧	枝番	編集しない（入力済みの値のまま）
⑨	停止設備（号機単位の名称）	編集しない（入力済みの値のまま）
⑩	系統コード（号機単位）	編集しない（入力済みの値のまま）
⑪	作業開始年月日	yyyymmdd形式の半角数字で入力 例：2025年10月1日に作業開始の場合「20251001」と入力
⑫	作業開始時分	hhmm形式の半角数字で入力 例：9:05に作業開始の場合「0905」と入力
⑬	作業終了年月日	yyyymmdd形式の半角数字で入力 例：2025年10月3日に作業終了の場合「20251003」と入力
⑭	作業終了時分	hhmm形式の半角数字で入力注：24:00の場合「2359」と入力 例：9:05に作業終了の場合「0905」と入力
⑮	広域受付番号	広域機関システムから取得した広域受付番号を入力 広域受付番号がない場合「zzzzzzz」を入力
⑯	出力可能容量[kW]	1以上の数値を入力。出力可能容量が0kWの場合は「1」を入力
⑰	容量停止計画登録状況	編集しない（空欄、または入力済みの値のまま）
⑱	登録区分	1,2のいずれかの半角数字を入力 1：初回登録 2：変更（2回目以降）

3.容量市場システムへの容量停止計画の提出（変更）

システム操作・留意点（1．CSVファイルのアップロードによる登録）

16

- 作業調整が完了した後に、容量停止計画を変更します。
- 「**変更調整後の容量停止計画の提出**」は、以下の手順に従い、変更調整後の容量停止計画の提出を行ってください。

● CSVファイルの保存

CSVのファイルは以下の名前で保存します。

1回目更新時：容量停止計画_0123_2099_0123456789_A1_R1.CSV

事業者 対象 電源等識別番号 枝番※ 変更
コード 実需給年度 回数

※枝番はファイルを分割する場合のみ

R2
R3
⋮

● CSVファイルのアップロード

容量市場システムにCSVファイルをアップロードします。

※ 12頁の「3.容量市場システムへの容量停止計画の提出（初回）」と基本的には同様の業務となりますが、赤字箇所は変更点となりますのでご注意ください。

＜容量停止計画をまとめる場合の留意点＞

- ・1行に1つの容量停止計画の情報を入力し、複数の計画がある場合は2行目以降に入力
- ・複数の容量停止計画をまとめた場合、先頭行の電源等識別番号をファイル名に記載
- ・容量停止計画は号機単位で作成
- ・月を跨る作業計画は、月単位に分けて作成
- ・他事業者の容量停止計画をまとめることはできません
- ・容量停止計画を変更する場合は、変更する容量停止計画のみ提出してください。変更しない容量停止計画は当該の行を削除のうえ提出

① 容量市場システム「ポータルトップ画面」の「参加登録」タブで「一括登録・変更」を押下して、「一括登録・変更画面」へ遷移

② >「ファイル種別」で「9:容量停止計画登録・変更」を選択。ファイル選択ボタンを押下、アップロードしたい容量停止計画（年間）を選択し、アップロードボタンを押下してください。

- ※ 容量停止計画はユニット単位で作業毎に提出する必要があります。
- ※ 容量停止計画を誤って提出した場合や、アップロード処理の成否確認方法、提出単位詳細については業務マニュアルを参照してください。

- ## ● CSVファイルの取下げ/取消

【容量停止計画一覧画面】

【容量停止計画の取下げイメージ】

容量市場システム

ログイン日時: 2022/04/25 20:09
ユーザ名: 担当 アラウェア21

ログアウト

容量停止計画一覧画面

TOP > 容量停止計画 > 容量停止計画管理 > 容量停止計画一覧画面

容量停止計画情報一覧

1 - 1件 (全1件) << 最初 | < 前へ | 1 | 次へ > | 最後 >>

▼ 選択

容量停止計画ID *	支送給年度 *	電源等識別番号 *	電源等の名称 *	受電地点特定番号 *	停止設備 (号機単位の名称) *
☒	0000000708	2036	0000009134	Ph3_電源7Y02_安定1	3300000000000000000000007 1号機

取下げ/取消を希望する容量停止計画にチェックを入れる

1 - 1件 (全1件) << 最初 | < 前へ | 1 | 次へ > | 最後 >>

取下げ 取消

Copyright ©CCTO. All Rights Reserved.

3.容量市場システムへの容量停止計画の提出（参考資料）

- 容量停止計画を容量市場システムに登録等を行う際の手続きは下表のとおり。

手続		状態	手続時の留意点
①	初回登録	容量停止計画を新規で提出	・CSVファイルを作成し、容量市場システムにアップロードする ・提出時に容量停止計画IDが入力されている場合は取込エラーとなる ・容量停止計画CSVの登録区分は「1」で入力
②	変更	提出済みの容量停止計画を変更	・CSVファイルを作成し、容量市場システムにアップロードする ・システムの登録状況が「登録確認待」もしくは「調整不調電源反映済」の際に手続きが可能 ・容量停止計画CSVの登録区分は「2」で入力 ・変更の場合、登録済みの容量停止計画の取消は不要
③	取消	提出済みの容量停止計画を取消	・容量市場システムにおいて操作 ・提出済みの容量停止計画が削除される ・システムの登録状況が「調整不調電源反映済」の際に手続きが可能
④	取下げ	容量停止計画の初回登録、変更、取消の手続中の容量停止計画を取下げ	・容量市場システムにおいて操作 ・手続き前の状態に戻るだけで、提出済みの容量停止計画はなくなる ・システムの登録状況が「登録確認中」、「変更確認中」、「取消確認中」の際に手続きが可能

3.容量市場システムへの容量停止計画の提出（参考資料）

- 容量停止計画を容量市場システムに登録した際に表示されるステータスとシステム内の状態は下表のとおり。

ステータス		状態	可能な操作とステータス遷移先
①	なし	容量停止計画が提出されていない状態	容量停止計画の登録(②)
②	登録確認待	登録の容量停止計画が提出された状態	容量停止計画の変更(④)・取下げ(⑩)
③	登録確認中	本機関において内容の確認中の状態	事業者側の操作不可 本機関確認後(⑧)
④	変更確認待	変更の容量停止計画が提出された状態	容量停止計画の変更(⑤)・取下げ(⑪)
⑤	変更確認中	本機関において内容の確認中の状態	事業者側の操作不可 本機関確認後(⑧)
⑥	取消確認待	取消の容量停止計画が提出された状態	容量停止計画の取下げ(⑧)
⑦	取消確認中	本機関において内容の確認中の状態	事業者側の操作不可 本機関確認後(⑨)
⑧	調整不調電源反映済	容量停止計画(登録・変更)が反映された状態	容量停止計画の変更(④)・取消(⑥)
⑨	調整不調電源取消済	容量停止計画(取消)が反映された状態	—
⑩	登録確認待取下げ	容量停止計画を取下げした状態	—
⑪	変更確認待取下げ	容量停止計画を取下げした状態	—